

会 議 録				
平成23年度第8回 社会教育委員の会議	日 時	平成24年2月15日(水) 午前9時30分～11時30分	場 所	小金井市役所第二庁舎 8階801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出 席 者	委 員	伊藤、倉持、小林、佐野、樹、中村、本川、本多、松田 各委員 欠席 田尻委員		
	その他	西田生涯学習部長、宮腰スポーツ振興担当課長、尾崎国体推進担当課長、 田中図書館長、大関公民館長		
	事務局	林生涯学習係主事		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
人事異動について				
1. 協議事項				
(1) 視察研修について				
(2) その他				
2. 報告事項				
(1) 多摩郷土誌フェアについて				
(2) 第4回小委員会について				
(3) その他				
人事異動について				
(本川議長)				
新しく生涯学習部長をお迎えしたということであるので、ごあいさつをよろしくお願ひする。				
(西田生涯学習部長)				
2月1日付で前任の天野建司前生涯学習部長が市長部局のほうに出向し、企画財政部長兼企画政策課長事務取扱として着任した。私は前企画政策課長であったが、このたび生涯学習部長を拝命し2月1日に着任をしているというところである。さらに、2月15日、本日付でさらに人事異動があり尾崎充男生涯学習課長が国体推進担当課長になった。皆様にもいろいろご心配をいただいている第68回国民体育大会専門の担当課長ということで着任した。併せて、私は生涯学習部長兼生涯学習課長事務取扱兼文化財係長事務取扱という人事が発令されている。				
私は24年ほど小金井市役所に奉職しているが教育委員会に配属されるのが初めなので、委員の皆様のご叱咤激励、ご指導、ご鞭撻を受けながら何とかこの重責を果たしていきたいというふうに考えている。以上であいさつとさせていただきます。よろしくお願ひする。				

(尾崎国体推進担当課長)

急な話であるが、本日付で国体推進担当課長となった。今年はプレ大会が実施されるということで、国体成功のために全力で取り組んでいきたいと考えているので、今後ともひとつよろしく願います。以上である。

(本川議長)

委員も自己紹介を。

(樹委員)

樹一美と申す。よろしく願います。社会教育委員2期目を務めさせていただいている。

(中村委員)

中村と申す。よろしく願います。私も樹さんと同じで2期目を務めさせていただく。よろしく願ひ申し上げる。

(本多委員)

本多である。同じく2期目を務めている。よろしく願います。

(松田委員)

松多佳子と申す。よろしく願います。1期目である。PTA連合会から出向している。よろしく願います。

(小林委員)

おはよう。小林智恵子と申す。市民公募で3期目になる。どうぞよろしく願います。

(倉持委員)

倉持である。同じく3期目になる。東京学芸大学で社会教育を担当している。よろしく願います。

(伊藤副議長)

3期目である。市民公募で務めさせていただいている。残された日にちもあと1年ちょっとであるので、全力で頑張っていきたいと思う。よろしく願います。

(佐野委員)

体育協会から推薦をされて社会教育委員になっている佐野郁蔵と申す。ひとつよろしく願います。国体の担当課長になられたということで、非常に心強く思っている。力をあわせて大成功の大会ができるように、力はないけれども、尽くしていきたいと思うので、どうぞよろしく願います。

(本川議長)

本川である。3期目になる。ほんとうに幅の広い生涯学習を皆さんと一緒に何かできることがないかというようなことでさせていただいている。前任の天野部長、それから、その前の渡辺部長、今回職名が変わった尾崎課長には大変お世話になった。生涯学習部長、いろいろとご指導いただければと思っているので、どうぞよろしく願います。

尾崎課長、ほんとうに驚いているのだが、私も国体関係の委員をしているが、社会教育委員の立場で協力したいと思っているので、どうぞよろしく願います。

1. 協議事項

(1) 視察研修について

(本川議長)

では、協議事項にうつる。事務局から願います。

(事務局)

前回の社会教育委員の会議において、委員の皆さんからいくつか条件を挙げていただいて、事務局のほうで平成24年度の視察研修先を検討してほしいという要望があったので、事務局で検討し、今回、町田市の中央公民館が生涯学習センター化するというので、地域ネットワーク形成のために組織を変えて、新しい社会教育、生涯学習のあり方を模索するというので、4月に実施されるということだったので、これはひとつ参考になるのかなと思い、視察研修(案)として出した。委員の皆さんには、資料が2部ある。ご一読いただいて、ぜひ24年度の視察研修先として検討していただければと思う。町田市教育委員会には既に相談させていただいて、5月は難しいのだけれども、7月の社会教育委員の会議の日程であれば、視察研修の受け入れは可能であるというふうにご回答はいただいているので、もしそれによろしければ、きょうのこの場で決めていただいて、7月に伺わせていただくという形で依頼をしたいと考えているので、よろしくご協議いただきたい。以上である。

(倉持委員)

すまない。どうして町田市を取り上げたのかという、その部分を少し説明して頂きたい。

(事務局)

当初、武蔵野プレイスが新しくできたということで、また、第5ブロックであるということで見てもどうだろうかという話が出ていたのだけれども、近隣であり各自の自助努力で簡単に行くことができるので、視察研修としてはどこか違うところがいいというご意見が最初にあった。その上で、いくつか条件を出していただいて、公民館があるような自治体がいいのではないかと。行くだけで時間がかかるような遠隔地ではなく、自分で行ける近場ではなく、地域ネットワーク化をこれからやる、もしくは既に直近にやったようなところがいい、というような御意見であった。そこで周辺市を除いた近隣市及び都内でネットワーク化の取り組みを調べたところ町田市の事例が最適ではないだろうかと考えている。

(倉持委員)

ありがとう。ここにも書いてあるが、公民館をなくして、生涯学習センターにするわけである。都内で唯一公民館という名前があった練馬も、来年度から公民館という名前をなくしていくわけである。小金井がこれからどういうふうな形で、社会教育の

あり方を探るのかを検討する必要がある。町田の事例も7月に行ったとしてもまだ過渡期だと思うので、少し小金井の状況と町田の状況というのを考えあわせていくといいのではないかなというふうに思う。まだ、研修まで時間があるので、質問の内容や、だれに質問したいか、そのようなことも検討していく必要がある。町田の中央公民館というのは小金井とは異なり駅前の立派なビルの上にあるため、そのような状況も考え併せる必要がある。

(本川議長)

我々も事前に勉強する必要があると思っている。小金井の場合も公民館の本館がセンター機能を持つように伺っているのだが、合っているだろうか。

(事務局)

そのような認識で合っている。

(本川議長)

生涯学習支援センターの創設に向けてというのをまとめさせていただいているが、それを一歩進めるためにも今期中で考えるひとつの材料になるのではないかと考えているので、今回はご異存がなければ計画を進めさせていただきたいと思うが、いかがか。大丈夫だろうか。

(伊藤副議長)

場所としてはこれでよろしいのではないかと私は思う。

(本川議長)

では町田を今回の視察先としてさせていただきたいと思う。計画を進めていただきたいと思います。それから、事務局の用意した資料についてもお帰りになったらお読みになっていただきたい。どんなことを聞きたいか等をご自分なりに見出していただければと思う。研修については以上である。

(2)その他

(本川議長)

その他に移り、国体関係についてお話をさせていただきたいと思う。スポーツ祭東京2013小金井市実行委員会第1回常任委員会について、これは事務局からも報告があるかと思うが、大会の運営等については滞りなく準備が進んでいるということであるが、市民の国体への認知についてはまだまだ課題が残っているということであった。小委員会でも少し話したが、学芸大学に弓道場があって、何かお手伝いいただけないかということで、伊藤副議長と、村松学長のところに伺い相談したところ、詳細は別として国体に関してお手伝い頂けるということであった。

(伊藤副議長)

少しでも市民の方々に小金井で国体やることをわかっていただくための手段として、子どもさんを中心にそういう、特に弓道についてはなかなか我々ふだん目にすることがないし、テレビで中継されることもないので、少しでも子どもさんを中心にそ

ういうものを見ていただくことによって、親御さんも巻き込もうと、そういうことでその国体をやるんだよということの意識づけのための手助けになればというようなことで、お話を持っていったということになる。

(本川議長)

国体は50年近くに一度であるし、バスケットボールというと何となくみんなイメージわくのだけれども、弓道というのはやっぱりある意味ではマイナーな競技ではあると思うし、日本古来の武道ということで大変重要な日本人の精神が宿るような競技ではないかなと思っているので、何とかみんなに知らせて、興味を持って、小金井でやるんだということをはっきりみんなで応援できるのがいいのかなと思っている。プレ大会のどういうふうな規模で、どういう形で、どういうふうになつているかと現状を。

(西田生涯学習部長)

プレ大会は今年度、第59回全日本勤労者弓道選手権があり、6月8日に開会式があり、競技自体は6月9日と6月10日の2日間で行われる。

(本川議長)

何人ぐらい集まるのか。

(宮腰スポーツ担当課長)

すまない。資料がないが、1チーム4人で80チームと聞いている。320選手。役員等含める400人ぐらいの規模になるかもしれない。

(倉持委員)

倉持である。行政が事業としてやるには予算があるだろうが、例えば図書館でバスケットとか弓道に関する特集のコーナーを作ったり、公民館で国体関係の講座をやったりとか、そういうことならできるのではないだろうか。他にも例えば大学だと公開講座があるので、うちはどちらかというと教員を、現職の教員を対象とした公開講座が多いが、半期に一回ぐらい広報をかけるので、大体4月ぐらいと5月ぐらいに広報をかけてというのが多分、農工大も持っているのではないかと思うのだけれども、そういうところでちょっと取り上げてもらうとか、何か講師の先生にちょっと弓道の話をしていただくだとか、お金かけないでできることとしてはそういうのがあるかなと思ったのだが、どうだろうか。

(大関公民館長)

公民館長である。今そういったお話があったので、前生涯学習部長のほうから、当然国体に向けて、生涯学習部全体で応援していくというお話をいただいた経過がある。公民館でも検討はしていて、例えばこれまでの国体の歴史とかを映像を通して講座を組んで、より市民の多くの方に国体を知っていただくという講座の検討もしているし、のぼり旗を手づくりして、市内各所に置いて、国体をやる時期にはだれもが目にするような、そのような講座も一つの案である。

(田中図書館長)

図書館では1階にテーマ図書というコーナーを設けている。定期的に本を入れかえてアピールしているのだが、今は新年に入っているので、新年にとりかかるような、はじめの一步みたいなものを行っている。そういったコーナーに合わせて、今回、国体の特集あるいは弓道、バスケット等の本を選んで周知したいというふうに考えている。

(西田生涯学習部長)

先ほど議長がおっしゃったように、やはり50年に一回ぐらいしか回ってこない行事で、成功させなければならないが、国体が東京であるということを知っている市民が少ないのが現状である。選任の国体担当の課長も配置された。司令塔的な役割を担う者がいるというのは内外ともにはっきりしたというようなところもあるので、宮腰課長と一緒に二人三脚で引き続き続けていければというふうに思っている。一層のご協力をお願いしたいというふうに思っている。

(本川議長)

ありがとう。両館長ともに宜しく願います。5月に三者懇がある。その折に少しそういうようなお話も出てくるといいなというふうに感じている。

(佐野委員)

私たちは社会教育委員という立場だが、できたら学校教育部門と、連携していきたいと考えている。今、公民館長からお話があった手づくりののぼり旗、そういうものを小学校とかそういうところでみんなにつくっていただく。そういうような工作の時間につくって頂いて、いろんな施設に飾るとか、何かそういうふうに持っていけば、広がりが非常にできるのではないかなと。そういう意味では、学校教育のそういう方とのお話し合いというのを持てれば非常にいいかなというふうに感じた。

(伊藤副議長)

学校もそうだが、児童館や学童保育の子ども達に呼び掛けるのも一つの方法かもしれない。

(西田生涯学習部長)

リハーサル大会には間に合わないが、本大会のほうに向けてそういったことができるかどうか庁内で検討し必要があれば調整したい。

(尾崎国体推進担当課長)

佐野委員がおっしゃったような子どもたちにお手伝いしてもらいたいようなことは、学校教育の関係部署と話をして、できるのであれば進めていきたいと思うし、その辺は調整させていただきたいと思う。また、これは私案だが庁内の若い職員を何かチームを組んで意見をいただくとかそういう場も設けられればと思っている。できるだけ多くの方からご意見をいただきながら、取り組めるものからどんどん取り組んでいければいいかなというふうには考えている。

(本川議長)

続いて、小委員会の委員についてである。小委員会は5名が定員なのだが、今年度

は正副議長と、倉持委員、樹委員、本多委員ということであった。現在、社会教育委員からの出向委員は、放課後子どもプランに樹委員、図書館協議会に小林委員である。小委員会に関してはできるだけ出向していない委員にお願いしたいので前回の会議では本多委員、佐野委員の名前が挙がっていたが、最後の1人を中村委員お願いできるか。

(中村委員)

宜しくお願いする。

(本川議長)

では来年度の小委員会委員は中村委員、本多委員、佐野委員、伊藤委員、本川委員とする。続いて日程についてである。本会議については欠席のないように調整をお願いしたいと思う。

(倉持委員)

来年度は4月から7月末まで火曜日の朝1限だった授業が水曜日の1限になってしまって、授業が8時50分から10時20分まででして、4月から7月末までなので、いわゆる春学期の担当なのだけれども、その4月から7月末までは本会議のほうは11時ぐらいに来るということになってしまう。申し訳ないが宜しくお願いする。

(伊藤副議長)

実際会議があるのは2回か。4月と5月。7月は視察か。

(倉持委員)

視察の日程は決定しているのか。

(事務局)

町田市の都合を確認したところ、7月18日の午前中については会議室を確保してもらっている。ただ、これはあくまで仮の段階なので、委員の都合がつけば、日程や時間等は調整可能である。

(本川議長)

ありがとう。4月と5月に限り開始時間を10時としてもよろしいだろうか。

(西田生涯学習部長)

事務局のほうに確認したところ、この会議室自体は11時半まで借りているという形になっている。ただ、12時に会議終了ということでなく、12時に完全に退室できるということであれば大きな問題はないということである。

(本川議長)

わかった。では、7月までの間は10時から12時までということで開催したい。お昼休みにかからないように配慮したい。皆様も時間厳守でお願いします。それでは、協議事項は以上であるので、報告事項に移らせていただく。

2. 報告事項

(1) 多摩郷土誌フェアについて

(西田生涯学習部長)

第24回多摩郷土誌フェアがお手元の資料のとおり開催された。開催期間は平成24年1月21日から22日の3日間で、立川駅前にあるオリオン書房ノルテ店で開催された。以上である。

(本川議長)

ありがとう。他にあるか。

(尾崎国体推進担当課長)

第1回の常任委員会で報告する。議事については、報告第1号、議案1・2号の2点である。報告の1号では、小金井市長がかかったことと、小金井警察署の署長がかかったことの報告をした。議案の第1号として、スポーツ祭東京2013小金井市実行委員会専門委員会の規定ということで、原案のとおり承認されたということである。議案の2のところでは、専門委員会の付託事項ということで、4つの専門委員会を設立して、準備を進めるということである。本日、宿泊衛生専門委員会が午後2時から第1回目が開かれるところである。以上である。

(本川議長)

ありがとう。他にあるか。

(伊藤副議長)

事務局にお尋ねする。町田の視察について、質問を準備するが締め切りはいつか。

(事務局)

現時点では、町田とは具体的な話はなにもしていない。ただし、視察受け入れを予定している施設ではないため具体的な質問を予めお渡しする必要がある、それは遅くとも1か月以上前にはお渡ししたいと考えております。

(本川議長)

確認だが5月16日に本会議があつて、5月24日に三者懇があるということである。よろしいか。

(事務局)

これまで社会教育委員の会議、図書館協議会、公民館運営審議会では、三者懇談会と三者合同会議とを実施しているが、三者懇談会については、会議とは別の位置付けであるため、それぞれが連続して実施される場合もある。以上である。

(本川議長)

日程についてだが、関東甲信越静大会、平成24年度のだが、真ん中よりちょっと下のところである。小金井出席無しになっているのだが、これは確定か。

(事務局)

来年度は、全国大会と関東甲信越静大会が同時開催される。初日24日の内容は全国大会の部分であり、小金井市としては関東甲信越静大会のみ出席を予定している。以上である。

(本川議長)

わかった。

(佐野委員)

科学の祭典の開催に当たって三者代表者会議は開催されるか。

(伊藤副議長)

私の独断だが三者懇談会の席上で提案する予定である。

(小林委員)

小林である。図書館協議会の報告をする。1月31日、午前10時から12時まで、図書館本館地下集会室で行われた。ここでの議題は、今年度最後ということもあって、来年度のスケジュールについての話が主にあった。実は図書館協議会は年3回に来年度はなる。図書館協議会の今後2年間にわたるスケジュールの割り振りがあった。科学の祭典については、出席の委員の皆様からはぜひやりたいねという話が出た。

(田中図書館長)

今、小林委員がご説明してくれたように、三者懇と科学の祭典について話をした。次回も参加するという意向であった。今話があったが、国体についても次回以降話をしたいと思う。ただし、図書館協議会は回数が3回であり、図書館評価につなげるために丁寧に図書館運営方針の説明をやっていこうかと考えているので、その合間を縫ってということになる。

(本川議長)

よろしく願います。では次に放課後子どもプランを。

(樹委員)

放課後子どもプラン運営委員会の報告をする。1月27日午後2時から前原小学校の多目的室で今回行われた。前原小学校の視察だったが、雪が降った直後だったので、大変寒い日であったが、前原小学校の実行委員会の成り立ちから、子どもたちが校庭遊びをしている様子等も見せていただいた。前原小学校では、実行委員長が地域の方で大変細かく、丁寧にやってくださっていることがよく理解できた。コーディネーターからの報告もあったが、どこの学校も実行委員会形式に持っていこうという流れをつくっているが実行委員のなり手が少ないというのがやはり問題になってきているというお話があった。次回は3月に行われることになっている。以上である。

(本川議長)

では、第8回の社会教育委員の会議を閉会とする。ありがとう。

以上